

トリクロロエチレンの分解度試験成績報告書

1 試験期間 昭和53年4月28日～昭和53年7月27日

2 試料名 トリクロロエチレン (試料底K-25)

分子式 C_2HCl_3

構造式 $CHCl_2 = CCl_2$

性状

外観	無色透明液体	溶解性	水に難溶 n-ヘキサン に可溶
沸点	86.7		
比重	1.45		

(XXXXXXXXXX 特級試薬使用)

3 試験方法及び条件

環保業第5号	} 微生物等による化学物質の分解 度試験による
業発第615号	
49 基局第392号	

試料濃度 100ppm 汚泥濃度 30ppm

試験期間 2週間

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機（揮散性物質用クロメーター使用）

3.2 酸素消費量測定

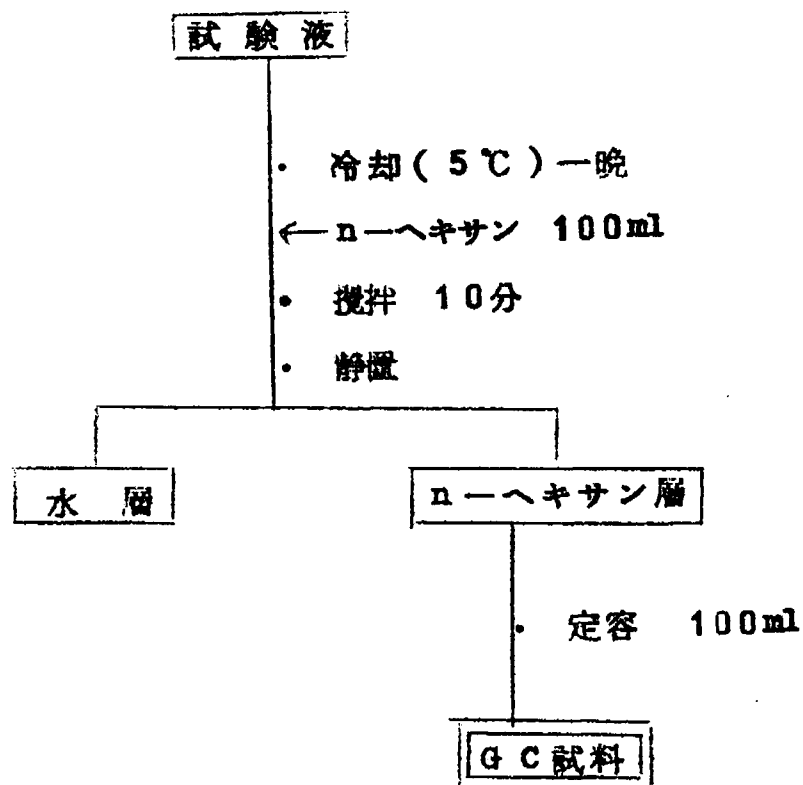
3.1の記録による

3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

ガスクロマトグラフ 検出器 F I D

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス N_2

充てん剤 15%TCP/クロモソルブ W

ステンレスカラム 3 mm ϕ \times 3 m

カラム温度 70 $^{\circ}C$

4. 試験結果

	分解度 (%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	2.4	1	—
GC による結果	0	2	1

5. 備 考

供試物質を GC-MS にて確認した (図-5 参照)

試料の採取

試料は液体であるため、比重換算してマイクロシリンジで
21 μl 採取した。

$$(21 \mu l \times 1.45 = 30.5 \text{ mg})$$

クーロメーターへのセット状況

	状 況	pH
仕 込 時	試料は培養ビンの底に沈んだ	—
途 中	—	—
終 了 時	水系 汚泥系とも試料は見分けられ なかった。	—